

## 振武

「しんぶ」

守山高等学校

光泉高等学校

守山高等学校と光泉高等学校の部旗にはともに「振武」の文字が染め抜かれてあります。守山高等学校の剣道部は白井督郎先生が創部され、光泉高等学校の剣道部は白井先生の下で剣道を学ばれた中野泰宏先生が創部されました。この両先生が剣道を学ばれた日本体育大学剣道部の座右の銘が「振武」であると聞き及んでいます。

日本体育大学剣道部のホームページに掲載されています「剣道部の歴史」には、道場の師範室には剣聖高野佐三郎先生(1852～1950)揮毫の「振武」の扁額が掛けられ、また、日頃は範士九段小澤丘(妙)先生(1900～1991)が筆を執られた「振武」の手ぬぐいを用いていると書かれています。

白井先生、中野先生がそれぞれ創部される時、大学で学ばれた剣道についての考え方を高校生に伝えようとの思いを籠めて部旗をつくられたのではないかと思います。

さて「振武」の「振」と言う文字は漢和辞典で調べますと、“ふるいたつ”“活発に活動をする”と言う意味や“人々に強く示す”という意味があります。

古くから「威、四海に振るう＝威力を世界中に示し広める」と言うような言い回しがされてきました。

また、白井督郎先生によりますと恩師小澤丘先生は「武と言う文字は戈(ホ)と止(ヤル)という字を重ねて書く。武は争いをおさめるためのものである」と繰り返し述べておられたということです。「武道を学ぶ者は、人望によって争いごとを収めるだけの力量を持つことが大切で、人としての生き方について深く学びつつ精進しなければならない」と小沢先生は教えていただいているのではないかと思います。

したがって、「振武」と言う言葉は「剣道などの武道を広く活発に伝えることで、人としての正しい生き方を多くの人に知らしめ広げていく」と言う意味があるのではないかと考えています。

剣道を学ぶ者にとって身の引き締まるような迫力のある言葉です。